



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第232号

2008年9月20日

みなさん、こんにちは。台風の時節、到来ですね。各地で被害が少ないことを祈るばかりです。

● GT と講演会が行われました

「松山厚写真展」関連イベントが、行われました。13日(土)のギャラリートークには多くの方が参加され、出品作家直々のお話を楽しんでいる様子でした。



14日(日)の講演会は、第1部同様、橋の科学館からマイスターをお招きしました。今回は、「海峡に夢を託して」という演題で、NHKの番組にも出演された飯島靖朗氏が、明石海峡大橋の基礎となる海底の調査や柱を立てる作業の苦労とその難しさについて、話されました。

明石海峡に潜り、世界一の橋の基礎を築いた誇りを感じさせる飯島氏のお話には、参加者は聞き入っていました。会の終了後には、「私はメインケーブルを作りました」と申し出る方が現れ、当時は海底と海上に分かれて作業を行っていたため、会うことのなかった同志との邂逅があり、談笑する姿が見られました。

講演会での飯島氏

● 秋季特別展は、27日(日)からです！



「柔らかい時計」
サルヴァドール・ダリ

秋季特別展「ドーム展」の開幕まで、1週間となりました。何度かご紹介している花器「アマリリス」以外の作品を、少し皆様にご紹介しましょう。チラシ裏面に載せられている中で、印象的なのは、ダリの「柔らかい時計」でしょう。広く知られたダリの溶けたような時計。どんなガラス作品になっているのでしょうか。

ドームは、フランスで現在も創業しているガラス工芸会社で、今年は創業130年目にあたります。アール・ヌーヴォーの作品が有名ですが、芸術性を追及し続けてきたドームがアーティスト達との共同作業で作った作品は、今回の展覧会の目玉のひとつです。会場で、ぜひ本物を、ご覧くださいね。